

本日のテーマは 全4テーマ中の第二番目

分かち合いのテーマII:「希望は欺かない」。現代の私たちの教会にはどのような希望があるでしょうか。私たちの教会が社会に向けて真の希望を示すために、どのような反省や識別が必要でしょうか。

- ① 今回の聖年のテーマは「希望は欺かない」です。あなたは現代の教会に希望を感じますか。どのようなところに？ないとすれば、どのような点でありませんか？教会が言う欺かない希望とはどんなものだと思いますか。
- ② 2008 年に列福された 188 人の殉教者のほとんどは信徒でした。現代は「信徒の時代」と言われますが、小教区の中で、信徒が生かされていると思いますか。生かされていないとすれば、それはなぜだと思いますか。
- ③ 教会（小教区）の中で、信徒が生き活きと活動するために何が必要だと思いますか。
- ④ あなたは生涯忘れることできない信仰の喜びの体験（神との出会い、みことばや秘跡に支えられ生かされた体験など）がありますか。あれば、分かち合ってください。
- ⑤ あなたの共同体で地域に開かれた活動がありますか（たとえば、炊き出しや子ども食堂など）。また、どのような事であれば、始めることが可能だと思いますか。
- ⑥ 現代の若者はZ世代（幼少期からインターネットやスマホが日常的に利用できる環境の中で育った世代）と言われ、信仰や希望、忍耐を大切な徳だとは考えない人もいます。このような時代の中で信仰にはどのような意味があると思いますか。あるいは、このような世代に対する宣教方法はどのようなものだと考えますか。

本日も 3つのチームに分かれて(極力前回とは異なる組合せメンバーになるようにしつつ)

- ① テーマに関し 個々人が頭の中を整理する(5分)
- ② 個々人の思いを チームメンバーに話す(3分/人)・・・メンバーは黙って聴く
※ しばし、祈りの時
- ③ 他のメンバーの話を一通り 聴いた段階で、さらに自身が感じたこと 考えたことを話す(3分/人)
※ しばし、祈りの時
- ④ 上記2ラウンドで、さらに個々人が感じたこと(テーマに関わる全員共通の核心部はある？=何？
無い？=複数人の共通核心部分は？
等を考えながら、各自「本日の結論」的エッセンスを 付箋紙に書き出し、各自説明を加えながら
付箋紙を A3 版(1枚え行t)の紙の上に順番に貼りつけていく。
- ⑤ おわりの祈り

※ ④の直接成果物が、次ページ以降の資料。

文字で表現された各々の思い・思考の背景にも思いを巡らせながら 全体を読んでみて下さい。
文字だけでは表現しきれていない 魂の思いが発見できるかもしれません。その背景的思いを
互いにくみ取り合うことが 霊的会話でもあります。

「信仰があってよかった」
心からそう感じているのか
このようにしてまわりの人
に伝えられるのか? と
感じている

自分の人生の歩み &
仕事で培ったことが
「これまで」と「今」歩いて
いる人の手助けになろうか
と考える。

① 他の皆様の
何かお役に
立てる
言動を競い
ていきたい

② と全員の信徒が
考え、一人一人が
自分のできることで
教会内外で
振る舞える
共同体であって

神様への感謝
と、その道を正しく
知り行動する
姿勢を、
↓
奉仕の精神

おこがましいが
自分のほろがまが
キリストを伝えるもので
あれば... と思う
(昔の宣教師(女)の姿を
思いおこして)

人と神との
やりとり
その中で、自分と神さまの
関係を深める

自分の友達を連れてこられる
共同体。
それは、自分がここに
居心地がいいと感じて
いるから。
新しい人がここに魅力的
であると感じやすくなる!!

互いの
関係性を
深めるための
イベント or
おしゃべり会

Welcome
の / じ

一緒に
愛(希望)を
つくり出す共同体
になる

教会に集える
信徒の為。
信仰に基いて
いかに人の為に
何かができるかを
考える教会を
目指す。

教会共同体として
のビジョンを
一人一人の思いを
ベースに作りだす
それが教会の
成果物になる
でしょう。

未来に向けて 年代
に関係なく 感謝を
伝えあえば、愛の心
が生まれ、若者を
大切に育てていく
ことが必要である。

希望は信仰によって。
愛は養われていく

神への信仰をよりどころ
として教会信徒が
協力していくことが
必要である。

横のつながり
だいじ

世界平和

ネタって
行動

自分ひと
りで考える

時間は
かかるが
地道に

ミサに来る人は
減っているが、
少なくともまとまる
こともあるかも

時間がかかる
かもしれない
けれど
共通にして

祈りながら
きっとかなう

コトがあったか
らこそ、よくなった
こともある

時間はかかるけれ
ど、いつかは
希望に到達
できる

みんな希望
をもってください
時間が経つ
も

人と話すことで
みえてくることか
ある

人と話すことの
ない人と具体的に
つながるまで

視点も変え
共通の視点で
みえる

やりながら
できることと
する

信者同士の良から
横のつながりに
大切にする

NO. 9 ~ 11

信徒が
自主的に
運営する
教会...

ミサ後の
時間、分が
合いが大切。

ミサ後に
こうして
"わち合う"
機会がある事に
感謝♡

信徒同志
の会話が
少ない。

信徒同志
の茶話会
をぜひ!

教会やミサ
に来ない、来
られない人を
大切にしたい!